

第2回 練馬区立光が丘第十保育園運営業務委託事業者選定委員会 会議要点記録

光が丘第十保育園視察

平成23年9月26日(月) 午前10時～11時30分

出席者：学識経験者2名、区立保育園園長経験者1名

平成23年9月28日(水) 午前9時30分～11時

出席者：有識者2名

平成23年10月14日(金) 午後1時30分～2時30分

出席者：保育課長

平成23年10月18日(火) 午前10時～11時

出席者：児童青少年部長

1 園長より光が丘第十保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 散歩の経路は保護者に伝えているか。

A 散歩マップは保護者にお知らせしている。その日その日のルートは伝えていない。保護者の保育参加時には、散歩ルートを実際に歩いてもらうこともある。

Q 保護者の保育参加はやっているか、また参加者はどの程度か。

A 乳児は、保護者がマスクやエプロンを着用し、保育士の格好をしてもらい実際の保育体験をしてもらっている。各クラスで期間を設けて行っている。ほぼ全員の保護者が参加している。産休中の保護者が参加する場合などは随時行っている。

Q 遊具やおもちゃを選ぶ際に保育園としてのポイントはあるか。

A 乳児には手造りや布製のもの、幼児にはラキュー等の手先を使うものなど、年齢に合わせたおもちゃを選んでいる。園内でおもちゃプロジェクトを組み、おもちゃのリストを作成している。

Q 貸出し絵本の利用はどうか。

A 毎日、ほぼ皆が利用している。一日1冊までのルールがある。年2回の光が丘図書館からの払い出しを利用して、絵本を揃えている。また、貸出し絵本とは別にコーナーを設け、毎月お勧め絵本の紹介をしている。

Q この保育園の特徴は何か。

A リズムを長い間継続的に取り組んでおり、毎週行っている。今年度から外部講師に月1回来ていただき、指導を受けている。異年齢交流「流れぼし」も継続的に取り組んでいる。また、各クラス、園児ひとりひとりに個別の目標をたて、保護者にも伝え「共育て」を進めている。

Q 「流れぼし」はどの位行っているか。

A 年間計画をたて、3グループに分け、最低月一回は行っている。運動会前になると行う回数が増える。

Q 障害児は何名いるか。また、気になる子どもは増えているか。

A 現在は3名在園している。気になる子どもは増えてきている。昨年より石神井特別支援学校の先生がコーディネーターとして保育園に来て、気になる子を見てもらうようにしており、職員へもアドバイスをもらっている。

Q 子育て支援の利用状況はどうか。

A 毎月10組程度が利用されている。ふれあい給食は6組12食を限度としているが、ほぼ毎回うまっている。

Q ふれあい給食はどここの部屋を使っているか。

A 1歳児の利用が多く、受け渡しコーナーを使用している。3歳児位になると3歳児室で園児と一緒にすることもある。参加者には給食のレシピを紹介している。

Q 区民農園はどこを利用しているか。園内では行っているか。

A 田柄三丁目の区民農園を利用しており、練馬大根、じゃがいも等を育てている。じゃがいもはポテトフライにし、大根はお味噌汁に入れたりして園で食し、また、持ち帰っている。園内ではプランターでなす、ピーマン、オクラ等を栽培している。

Q 朝夕の特例保育は利用者が多いか。

A 利用者は多い。夕方6時30分のお迎え時はかなり混雑する。

Q 環境学習などの取り組みはどうか。

A 練馬区清掃事務所の職員が来園し、園内でごみの分別ゲームをしたり、分別の仕方を教えてもらっている。5歳児は日々の紙の仕分け（白紙、色紙等の分別）を行っている。また、ペットボトルのキャップの回収も行い、エコキャップ推進協会に出している。

Q グリーンカーテンはやっているか。

A ゴーヤと朝顔を育てている。

Q 食育について保護者へはどのように伝えているか。

A 栄養だよりを発行し、今月のお楽しみ給食や行事食について紹介している。また、旬の食材や果物についても紹介をしている。

Q アレルギー食対応は何名か。また誤食チェックは何回行っているか。

A 5名。献立表を確認し、調理室、配膳時、子どもが着席時の3回チェックを行

っている。

Q 看護師の保健指導はあるか。

A 手洗い、歯磨き、からだの仕組みなどを年齢に合わせて随時行っている。

Q 保護者の給食体験はあるか。

A 保育参加時にふれあい給食として体験している。

Q ご意見ボックスはあるか。

A 直接声掛けを心掛けてコミュニケーションをとっているため、常設しているが、意見はない。

Q 3月11日震災時の様子はどうだったか。

A 毎月訓練を行っている成果もあり、園児も職員も慌てることはなかった。最後のお迎えは24時を過ぎていた。

Q 園内研修の取り組み方はどうか。

A 年度初めに職員へのアンケートを行い、テーマを決めている。年2回、午後6時半から行っている。その他に区主催、都主催等の研修に参加している。

Q 地域における子育て支援の取り組みはあるか。参加者は多いか。

A 地域プロジェクトを組織し、年間計画をたて、季節に合わせたイベントを年10回開催している。参加者は10組前後で、リピーターも多い。チラシを公的施設に配布し、周知している。

Q 体験学習の取り組みはどうか。

A 中高生の体験学習を毎年4～5名程度受け入れ、大学生のボランティアの受け入れも行っている。

Q 小学校との連携はどうか。

A 年間3～4回の交流がある。年長児は、1年生主催の仲良し縁日に呼ばれたり、小学校の見学に行ったりしている。また、学校公開の案内があり、担任が参加している。